

令和2年3月2日	
資料提供	
担当	和歌山県立医科大学 【取材に関すること】事務局広報室 井松室長・岩本準主事（内線5731） 【内容に関すること】①法医学講座 近藤教授（内線5356） ②情報基盤センター 山本准教授（内線3551）
電話	073-447-2300（大学代表）

和歌山県立医科大学記者発表

令和2年2月26日に資料提供しております本学記者発表について、発表項目を追加しますのでお知らせします。報道関係の皆様方のご参加賜りますようお願い申し上げます。

日程及び場所

日程：令和2年3月4日（水）

場所：和歌山県立医科大学 生涯研修センター研修室（図書館棟 3階）

① 11:00～（約20分+質疑）

「インターロイキン6が静脈血栓融解を促進させることを発見」

発表者

和歌山県立医科大学医学部法医学講座 教授 近藤稔和

発表の概要

肺動脈血栓塞栓症とは、心臓から肺に血液を送る肺動脈に血栓といわれる血液の塊が詰まるために起こる病気で、近年エコノミークラス症候群という名前で知られるようになった突然死の原因の一つである。今回我々は、炎症反応・免疫反応に関与するタンパク質であるインターロイキン6（Interleukin-6, IL-6）が、静脈内に生じた血栓の融解を促進させる作用があることを明らかにし、静脈血栓の新規治療法開発の可能性を示したので記者発表いたします。

追加項目

② 11:30～（約20分+質疑）

「健康観察 PHR アプリを開発」

発表者

和歌山県立医科大学情報基盤センター 准教授 山本景一

発表の概要

健康寿命延伸のために個人の生活に紐づく医療・介護・健康等のデータを本人の判断のもとで利活用するパーソナルヘルスレコード（PHR）が注目されています。個人の日々の健康観察には、PHRの活用が最適です。歩数、血圧、摂取カロリーだけではなく、発熱・咳等の風邪症状が生じた場合の症状がなくなるまでの経過観察なども各自が記録することができるPHRアプリを京都大学の研究者とともに共同開発しましたので、記者発表いたします。